

霧島市「今週の一問」  
 小六国語 九月十三日版  
 H二十七年鹿児島学習定着度調査問題から



① インフルエンザが流行する季節の前に、京子さんが所属する健康委員会では、けい示板にはるお知らせのプリントを一人一まいずつ作り、「手あらい・うがいの大切さ」を発信することになりました。左は京子さんが書いた下書きです。京子さんは、このプリントの記事の部分を、①・②・③の三つのまとまりの文章にしました。

「手あらい」と「うがい」でインフルエンザを予防しよう

① インフルエンザの予防のために、何より心がけたいのが、日々の手あらいとうがいです。

② 手あらいは、石けんをしっかり使いながら、こまめにしましよ。なぜなら、あなたがふれる様々な物に、インフルエンザウイルスが付着しているかもしれませぬ。あなたが

③ また、外出後には必ずうがいをして、あなたが気が付かないうちにとのおくに付着したウイルスが体にしみこんでしまいう前に、うがいでしっかりとあらい流しましよ。



〇〇小学校 健康委員会 北山京子（五の三）

※問一は省略（しよすりやく）

二 京子さんは、下書きの ① の部分に、見る人を引きつけるような標語を書き入れたいと思いました。そこで、京子さんは、その標語の候補として、次のアからオの五つを考えました。

- ア さあ予防 手あらい・うがいが大切だ
- イ 健康を手あらい・うがいで守ろうね
- ウ 手あらいで健康な日々を送ろうよ
- エ 冬の日も手あらい・うがいをわすれずに
- オ この季節 石けん・じゃ口が君を守る

京子さんは、今、記事と候補の標語を比べたり、候補どうしを比べたりしながら、プリントに書き入れる標語を一つに決めようとしています。

京子さんは、まず、ウはこのプリントにのせる標語としてはふさわしくないことに気づきました。そして、残った四つの候補の中では、オがいちばん人を引きつける工夫がしてあると感じました。

あなたが京子さんなら、オを選んだ理由をたずねられたときに、何と答えますか。オがいちばんよいという立場から、次の条件にしたがって書きましよう。



【条件】

- ① 二文に分けて書く。六十字以上、百字以内で書く。
- ② 第一文には、ウがふさわしくない理由を記事の内容にふれながら書く。
- ③ 第二文には、残った四つの候補の中で、オが特にすぐれている表現の工夫を具体的に書く。

ウは、


↑ 100字

↑ 60字

文末に「～から」を使おう。言葉のきまりだよ。 新太郎

ここ、読点を書く場所がまちがっているよ。 ゆうき

この一文は長すぎて分かりにくいな。二文に分けるといいよ。 美春

霧島市「今週の一問」  
小六国語 九月十三日版  
H二十七年鹿児島学習定着度調査問題から



① インフルエンザが流行する季節の前に、京子さんが所属する健康委員会では、けい示板にはるお知らせのプリントを一人一まいずつ作り、「手あらい・うがい」の大切さを発信することにしました。左は京子さんが書いた下書きです。京子さんは、このプリントの記事の部分を、①・②・③の三つのまとまりの文章にしました。

「手あらい」と「うがい」でインフルエンザを予防しよう

③					②					①				
い	ウ	た	ま		が	ふ	こ	手		が	イ			
で	イ	が	た		付	れ	こ	あ		け	ン			
し	ル	気	た		着	る	ま	ら		たい	フル			
っ	ス	付	た		し	様	め	い		のが	エン			
か	が	か	外		て	々	に	は		が、	ザ			
り	体	な	出		い	な	し	石		日	の			
と	に	い	後		る	物	ま	け		々	の			
あ	し	う	に		か	に	し	ん		手	あ			
ら	み	ち	は		も	、	よ	を		あ	ら			
い	こ	の	必		し	イ	う	し		い	と			
流	ん	ど	ず		レ	ン	。	っ		う	が			
し	で	の	う		マ	フ	な	か		が	い			
ま	し	お	が		ル	ル	ぜ	り		で	す			
し	ま	く	い		エ	エ	な	使						
よ	う	に	を		ン	ン	ら	い						
う	が	付	し		ザ	ザ	あ	な						
		着	て		ウ	ウ	な	た						
		した	あ		イ	イ	が	が						
		な	な		ル	ル	が	ら						
					ス	ス								



〇〇小学校 健康委員会 北山京子（五の三）

※問一は省略（しよりりやく）

二 京子さんは、下書きの  の部分に、見る人を引きつけるような標語を書き入りたいと思いました。そこで、京子さんは、その標語の候補として、次のアからオの五つを考えました。

- ア さあ予防 手あらい・うがいが大切だ
- ウ 手あらいで健康な日々を送ろうよ
- オ この季節 石けん・じゃ口が君を守る

- イ 健康を手あらい・うがいで守ろうね
- エ 冬の日も手あらい・うがいをわすれずに

京子さんは、今、記事と候補の標語を比べたり、候補どうしを比べたりしながら、プリントに書き入れる標語を一つに決めようとしています。  
京子さんは、まず、ウはこのプリントにのせる標語としてはふさわしくないことに気づきました。そして、残った四つの候補の中では、オがいちばん人を引きつける工夫がしてあると感じました。  
あなたが京子さんなら、オを選んだ理由をたずねられたときに、何と答えますか。オがいちばんよいという立場から、次の条件にしたがって書きましょう。

- 【条件】
- ① 二文に分けて書く。六十字以上、百字以内で書く。
- ② 第一文には、ウがふさわしくない理由の記事の内容にふれながら書く。
- ③ 第二文には、残った四つの候補の中で、オが特にすぐれている表現の工夫を具体的に書く。



【例】

ウは「うがい」の「と」にふれていないため、見出しとしてはふさわしくなく、残った四つの標語のうち、オは「手あらい・うがい」という言葉を使わないことで、読み手の興味をひくことができると思う。

(九十三字)

↑ 100字

↑ 60字